



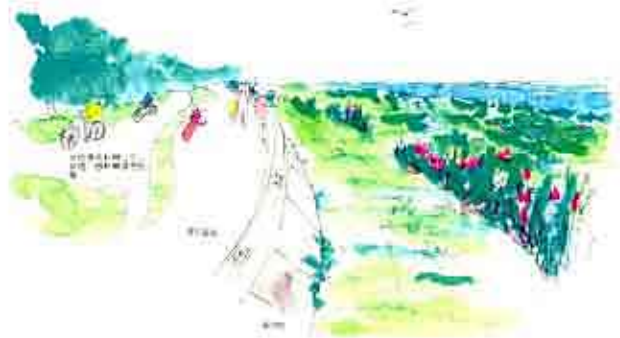
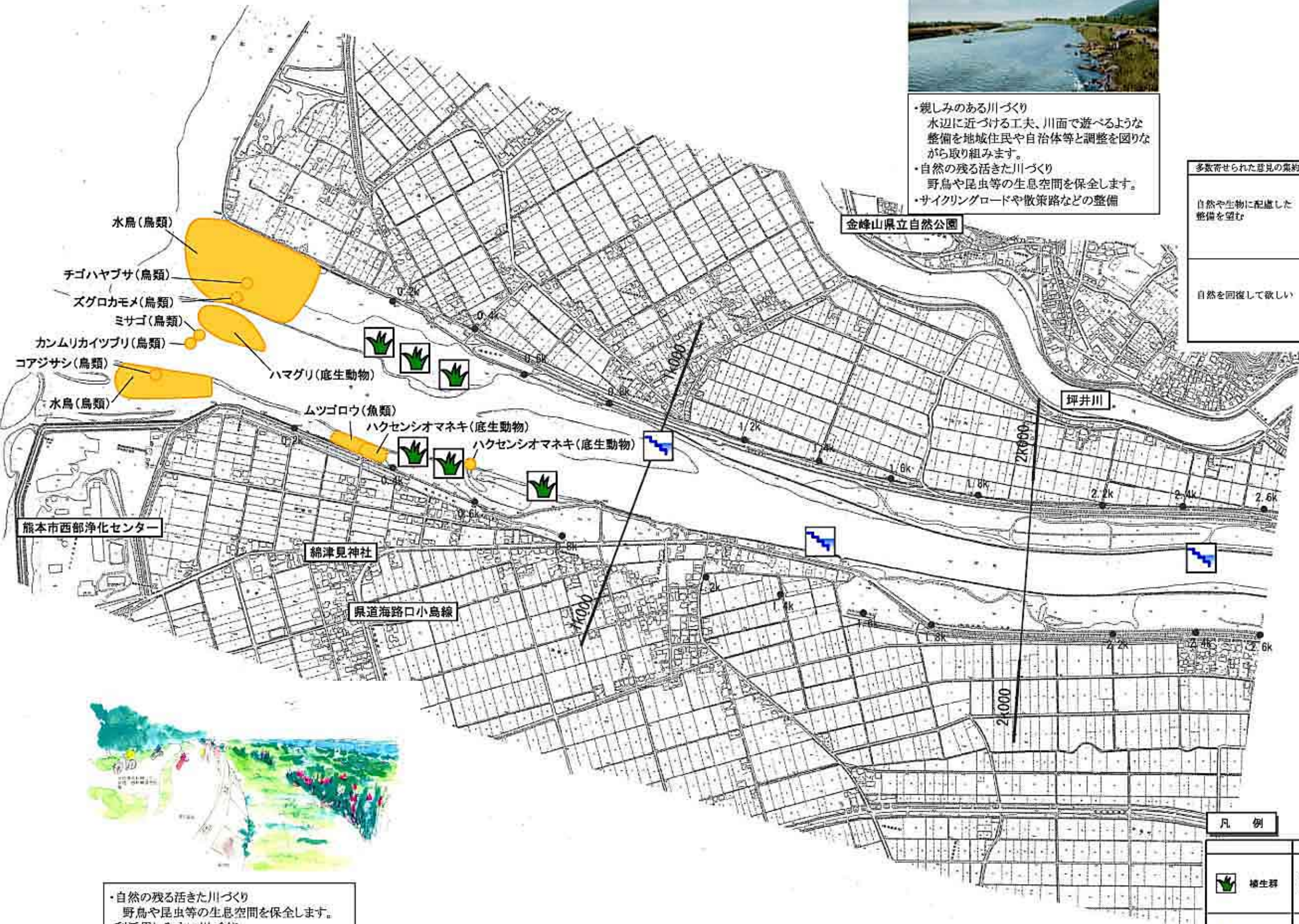
・親しみのある川づくり
水辺に近づける工夫、川面で遊べるような整備を地域住民や自治体等と調整を図りながら取り組みます。

・自然の残る活かした川づくり
野鳥や昆虫等の生息空間を保全します。

・サイクリングロードや散策路などの整備

住民の主な意見の反映

多数寄せられた意見の集約	特に具体的な意見
自然や生物に配慮した整備を望む	熊本港の近くの河口へ行った時、ゴミが多く捨てられていて汚く、トビハゼがたくさんいるのにかわいそうでした。
自然を回復して欲しい	実家が白川の河口（沖新町）で、以前から白川には親しんできた。小学生の頃はシジミが採れたり、父は川で水遊びをしたりしてきた。企業が砂を掘り出すようになってからは危ないので近づかないように言われる



・自然の残る活かした川づくり
野鳥や昆虫等の生息空間を保全します。

・利活用しやすい川づくり
散策路、サイクリングロードを整備します。

凡例

図記号	解説	備考
植生群	水当り裏側の洲に植生を図り、生物の生息空間をつくります。	事業主体について、地域や自治体と調整を図り、洪水に対する安全性を確認しながら取り組みます。
階段護岸	ボート遊びや釣りなどの親水の場として使える施設です。	利用者の責任でマナーを守って安全に遊ぶ必要があります。
保全対象生物	保全が望まれる生物です。	

河川整備計画図(河川環境)